

### 3-1. 登山利用に関する調査

## 1. 入り込み調査

### a. 昭和62年の推定登山者数

昭和62年における登山者数は白山観光協会「室堂」、白峰村「南竜」それぞれの資料に対し、調査結果をもととした推定日帰り者数を加算して求めた。

その結果は下表に示すとおりである。 (単位・人)

宿泊施設	宿泊者数	調査日の 下山者数			推定登山者数
		総数	日帰り	日帰り率	
室堂	23,541	3,432	576	16.8%	(野営場を含む) 34,040
南竜	5,603				
計	29,144				

また、日帰り率を上表の値と同じとして推定算出した昭和50年以降の登山者数を下表に示す。

### b. 昭和50年以降の登山者数の推移

年次	登山者総数	宿泊	日帰り	備考
50	37,008	31,685	5,323	日帰り率を一定として 推定算出
51	30,265	25,912	4,353	
52	35,425	30,330	5,095	
53	35,696	30,562	5,134	
54	33,372	28,572	4,800	
55	30,319	25,958	4,361	
56	34,356	29,414	4,942	
57	31,593	27,049	4,544	
58	36,293	31,073	5,220	
59	40,374	34,567	5,807	
60	34,631	29,650	4,981	
61	32,679	27,979	4,700	
62	34,040	29,144	4,896	
63	32,861	28,134	4,727	

表に見られるとおり、白山の登山者数は、おおむね3万人台で目立った変動は認められない。

ア 月別・曜日別登山者数の推移

昭和42-61年および昭和62年における月別登山者の推移及び曜日別に関する昭和52年以降の推移は、下表に示すとおりであった。

月別登山者推移表

月	比 率	
	S62	S42-61
4	0.6	0.1
5	1.8	2.0
6	27.5	2.8
7	61.9	40.7
8	3.6	4.7
9	4.6	4.2
10		0.3
11		100
	100	100

曜日別登山者数推移

曜日	比 率	
	s62	s52-s61
月	10.9	10.7
火	8.2	10.2
水	8.9	10.5
木	11.3	11.4
金	14.2	13.9
土	31.2	28.2
日	15.3	15.1
	100.0	100.0

2. アンケート調査

白山登山アンケート5000部を作成し、自己記入方式で行った。回収は室堂南竜での宿泊申し込み時、山麓施設や山小屋にあっては回収箱により、また登山者名簿により抽出した人々に対する郵送などで行い、回答結果は表に示すとおりである。

配布先	市ノ瀬	別当出合	室堂	南竜	避難小屋	郵送	日帰り対象	その他	計
配布	700	200	3000	600	100	200	200		5000
回収	299	136	1508	381	39	149	164	2	2678
回収率	42.7	68.0	50.3	63.5	39.0	74.5	82.0		53.6
調査地比	11.2	5.1	56.3	14.2	1.5	5.6	6.1		100

無解答の84は含んでいない。

a. 登山者の形態調査

昭和62年における宿泊者と日帰り者について昭和50年の資料と対比したものを以下に示す。

まず、登山者の性別については下表のような結果をえている。

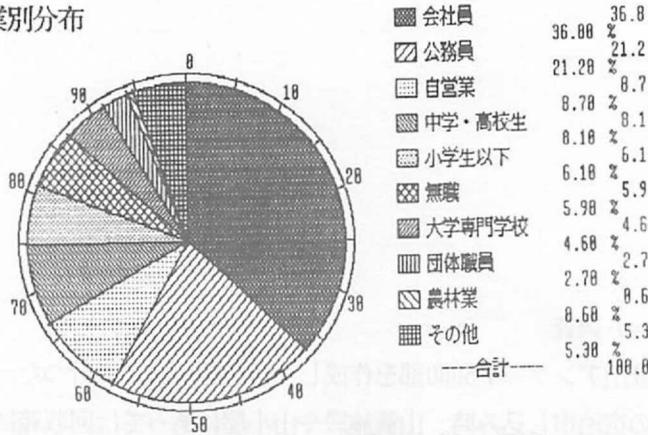
ア 登山者の性別構成

調査年度	男 (%)	女 (%)	対象人数	無解答	調査総数	備考
50年宿泊	68.8	31.2	31685		31685	白山観光協会調べ アンケート調査
62年宿泊	61.7	38.3	29144		29144	
62年日帰り	81.5	18.5	226	1	227	

イ 年齢層

調査年度	-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	無記入	総数
50年宿泊	0.6	19.5	51.7	16.4	8.0	2.7	0.9	0.2	4人	985
62年宿泊	2.0	14.5	17.8	28.2	25.3	9.0	2.6	0.6	88	2598
62年日帰り	-	6.2	20.4	33.6	27.0	9.3	3.5	-	1	227

ウ 職業別分布



登山者の、各種構成別分布状態は下の諸表およびグラフにまとめたとおりであった。また、登山者の住所別分布に関する昭和55, 62年の調査結果を下の図に示す。

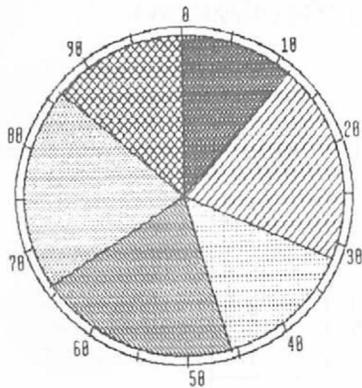
エ 人数構成 (無解答71)

構成別	人数	割合
二人	290	11.5
三人	512	20.3
四人	351	13.9
五人	509	20.1
六人以上	518	20.5
千人以上	347	13.7
合計	2527	100.0

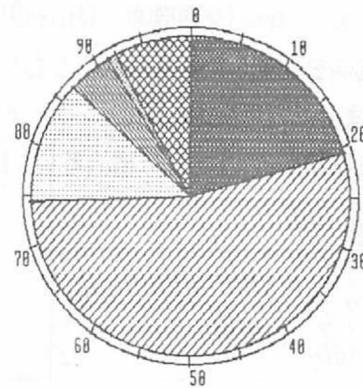
オ グループ構成 (無解答160)

構成別	人数	割合
家族	1116	53.7
友人	428	20.6
職場	257	12.4
学校	94	4.5
町内会	18	0.9
その他	164	7.9
合計	2077	100.0

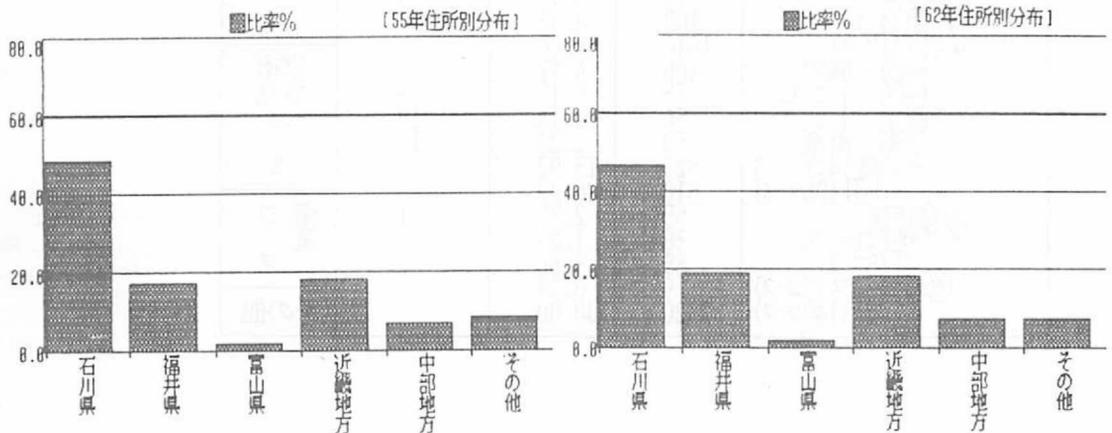
〔グループ別人数構成〕



〔登山者の構成〕



カ 登山者の住所別分布 (55, 62年)  
 …… 宿泊者数による ……



キ 白山登山の回数 (50, 62年)

昭和50, 62年の登山者の白山登山の回数別分布は下表のとおりであった。

調査年度	初めて	二回目	三回以上	無記入	調査総数
50年宿泊	55.7	18.1	26.2	11	985
62年宿泊	42.2	16.2	41.6	65	2598
62年日帰り	37.8	15.8	46.4	5	227

b. 登山者の動向調査

登山口までの利用交通機関、登山利用コース、日程および宿泊場所についてその動向を調査した結果は次のとおりであった。

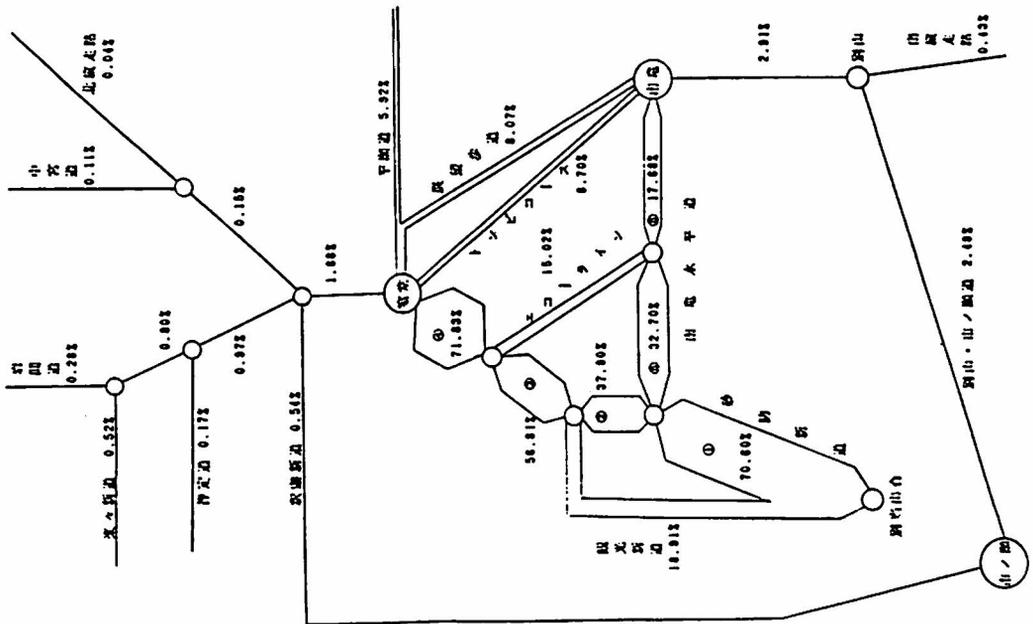
ア、登山口までの利用交通機関(アンケート調査による)

交通機関	宿泊者	日帰り	合計	割合
自家用車	1808	203	2011	67.8
路線バス	609	14	623	21.0
観光バス	99	0	99	3.3
マイクロバス	110	1	111	3.7
タクシー	69	0	69	2.3
バイク・自転車	15	4	19	0.7
その他	32	3	35	1.2
合計	2742	225	2967	100.0

イ-1、登山道の利用状況(アンケート調査による)

登山コース	利用者数	利用率	順位	ブロック
砂防往復	402人	17.33%	1	室室 コース
砂防・観光	369	15.91	2	
砂防・エコーライン	310	13.36	3	
観光・エコーライン	135	5.82	4	
観光往復	112	4.83	5	
エコーライン往復	112	4.83	5	
平瀬往復	73	3.15	8	
その他24コース	103	4.43	8	
小計(31コース)	1616	69.66		室南 コース
砂防・展望	106	4.57	7	
砂防・トンビ	73	3.15	8	
観光・トンビ	56	2.14	10	
平瀬・南竜	52	2.24	12	南 コース
その他94コース	323	13.92		
小計(98コース)	610	26.29		南 コース
南竜往復	55	2.37	11	
その他7コース	30	1.29		
小計(8コース)	85	3.66		その他
他のコース(3コース)	9	0.39		
計(140コース)	2320	100.00		

## 1-2 登山者の流動状況



### ウ、登山日程と宿泊場所（アンケート調査による）

登山日程および宿泊場所に対する回答は下表のとおりであった。

#### 登山日程（無回答102）

宿泊日数	宿泊人数	割合
二泊	1978	79.6
三泊	389	15.6
三泊以上	119	4.8
計	2486	100.0

#### 宿泊場所（2泊以上の複数回答）

宿泊場所	人数	割合
室堂	1994	73.6
南竜山荘	395	14.6
登山口の旅館	102	3.8
登山口の車中	9	0.3
野営場	163	6.0
避難小屋	46	1.7
計	2709	100.0

### エ、施設に対する満足度（アンケート調査による）

#### A. 建物について

宿泊先	満足	普通	不満	総数
室堂	32.2	58.2	9.6	1858
南竜山荘	47.6	48.7	3.7	273
避難小屋	60.6	36.4	3.0	33

#### B. 食事について

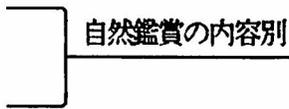
宿泊先	満足	普通	不満	総数
室堂	18.1	64.6	17.3	1677
南竜山荘	30.0	58.3	11.7	247

b. 年齢別登山目的

年齢	20>	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70<	合計
人数	413	446	708	636	225	66	16	2510
有効人数	386	439	679	609	213	60	15	2401
有効回答	877	1052	1675	1513	518	126	33	5794
1	264	324	543	552	183	39	11	1916
(13)	(107)	(113)	(209)	(237)	(89)	(13)	(3)	(771)
(14)	(16)	(7)	(12)	(13)	(3)	(0)	(0)	(51)
(15)	(10)	(6)	(12)	(16)	(6)	(1)	(1)	(52)
(16)	(131)	(198)	(310)	(286)	(85)	(25)	(7)	(1042)
2	76	136	205	158	70	15	6	666
3	148	214	368	339	133	45	7	1254
4	57	58	29	14	8	4	1	171
5	72	75	168	177	59	10	2	563
6	39	34	38	31	2	0	0	144
7	36	15	20	23	8	2	1	105
8	14	13	21	17	15	4	3	87
9	82	96	160	117	22	4	2	483
10	21	33	77	44	5	1	0	181
11	35	27	18	14	5	0	0	99
12	33	27	28	27	8	2	0	125
無回答	27	7	29	27	12	6	1	109

目的別の表示

- 1 . 自然鑑賞
- 2 . 御来光
- 3 . 山が好き
- 4 . 付き合い(誘われて)
- 5 . 体力増進・健康管理
- 6 . 涼しさを求めて
- 7 . 高い山だから
- 8 . 白山信仰
- 9 . 休日などのレクリエーション
- 10 . 教育(自己啓発)
- 11 . サークル・クラブ活動
- 12 . その他
- (13) . 高山植物
- (14) . 動物
- (15) . 火山・地形・地質
- (16) . 雄大な景色・展望



c. 登山回数と登山の目的

区分	初めて	二回目	三回以上	合計
人数	1068	411	1054	2533
有効回答	2447	910	2506	5863
1	821	310	812	1943
(13)	(317)	(133)	(330)	(780)
(14)	(22)	(10)	(20)	(52)
(15)	(25)	(6)	(21)	(52)
(16)	(457)	(161)	(441)	(1059)
2	241	132	309	682
3	506	174	590	1270
4	105	27	41	173
5	207	77	283	567
6	55	26	64	145
7	69	15	21	105
8	48	8	34	90
9	214	80	189	483
10	68	26	86	180
11	56	13	30	99
12	57	22	47	126

d. 登山者の住所と登山の目的

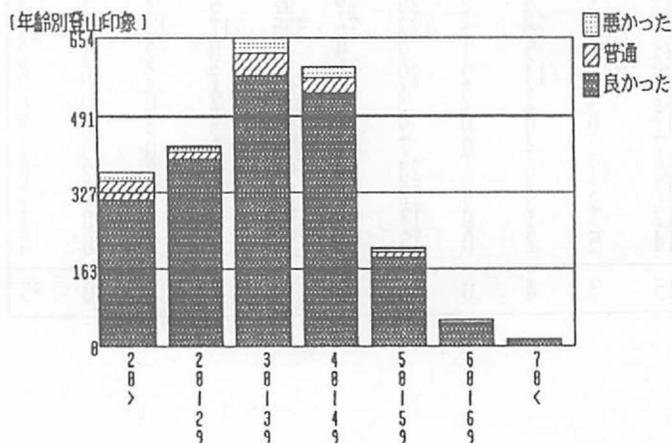
住所	石川	福井	富山	岐阜	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	無答	合計
人数	1103	407	58	49	5	183	126	528	26	22	14	77	2598
有効回答	1054	392	55	45	5	175	118	509	25	20	14	42	2454
回答	2506	955	122	109	15	440	290	1261	68	50	23	86	5925
1	795	276	35	36	4	173	103	456	27	19	9	32	1965
(13)	(327)	(92)	(9)	(11)	(2)	(87)	(38)	(182)	(10)	(8)	(6)	(13)	(785)
(14)	(19)	(6)	(2)	(2)	(0)	(6)	(3)	(10)	(0)	(1)	(1)	(2)	(52)
(15)	(17)	(6)	(1)	(0)	(1)	(9)	(1)	(15)	(2)	(0)	(0)	(2)	(54)
(16)	(432)	(172)	(23)	(23)	(1)	(71)	(61)	(249)	(15)	(10)	(2)	(15)	(1074)
2	352	149	13	8	2	26	29	97	5	1	1	4	687
3	470	175	28	28	3	122	76	325	17	14	6	21	1285
4	88	23	6	5	1	9	9	28	0	2	1	2	174
5	257	120	8	14	2	29	17	111	7	2	0	5	572
6	69	27	4	1	2	3	6	27	2	0	0	6	147
7	27	17	0	0	0	9	10	35	3	3	0	3	107
8	43	7	2	4	0	7	7	18	0	0	3	1	92
9	225	88	17	6	1	24	19	91	5	3	2	6	487
10	86	47	3	4	0	12	6	23	0	0	1	1	183
11	32	12	1	1	0	13	3	32	0	4	0	1	99
12	62	14	5	2	0	13	5	18	2	2	0	4	127
無効	49	15	3	4	0	8	8	19	1	2	0	35	144

e. 登山目的と感想

印象	良かった	まあまあ	普通	あまり	悪い	回答なし	合計
人数	1575	528	158	65	35	237	2598
有効人数	1563	523	153	64	35	116	2454
有効回答	3895	1205	327	146	85	267	5925
1	1343	383	84	43	20	92	1965
(13)	(550)	(153)	(33)	(14)	(6)	(34)	(790)
(14)	(34)	(8)	(3)	(2)	(0)	(6)	(53)
(15)	(42)	(7)	(1)	(1)	(1)	(2)	(54)
(16)	(717)	(215)	(47)	(26)	(13)	(50)	(1068)
2	432	150	41	18	14	32	687
3	862	240	67	37	15	64	1285
4	97	53	11	4	4	5	174
5	373	118	39	19	7	16	572
6	80	37	13	4	4	9	147
7	66	25	6	2	4	4	107
8	64	17	5	1	0	5	92
9	326	95	29	10	6	21	487
10	118	36	13	5	2	9	183
11	61	23	5	3	3	4	99
12	73	28	14	0	6	6	127
無効	12	5	5	1	0	121	144

f. 年齢別登山者の白山登山の印象

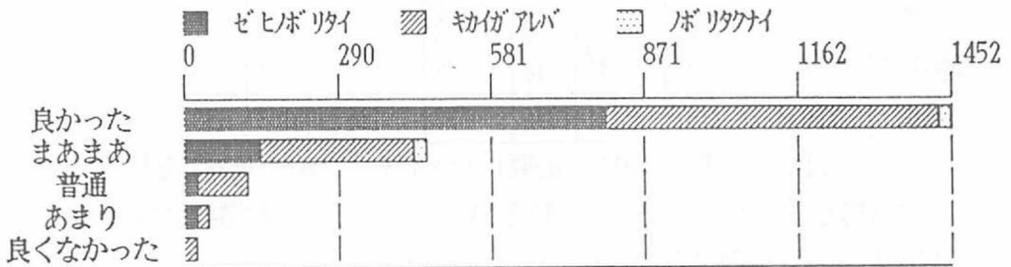
年齢層	全体数	良かった	まあまあ	普通	あまり	悪かった	無回答	有効回答
20>	413	236	74	39	8	10	46	367
20-29	446	291	105	18	6	5	21	425
30-39	708	413	160	48	24	9	54	654
40-49	636	404	133	32	16	7	44	592
50-59	225	155	34	9	6	2	19	206
60-69	66	36	11	3	3	1	12	54
70<	16	12	2	0	1	0	1	15
合計	2510	1547	519	149	64	34	197	2313



g. 登山の感想に対する再登山意向

感想	人数	有効人数	無回答	ゼヒボリタイ	かたがアバ	ボリクナイ	トチヲモ
良かった	1575	1491	84	806	630	16	39
まあまあ	528	497	31	145	285	23	44
普通	158	152	6	30	87	12	23
あまり	65	63	2	20	28	5	10
良くなかった	35	34	1	9	9	13	3
回答無し	237	45	192	20	23	1	1
合計	2598	2282	316	1030	1062	70	120

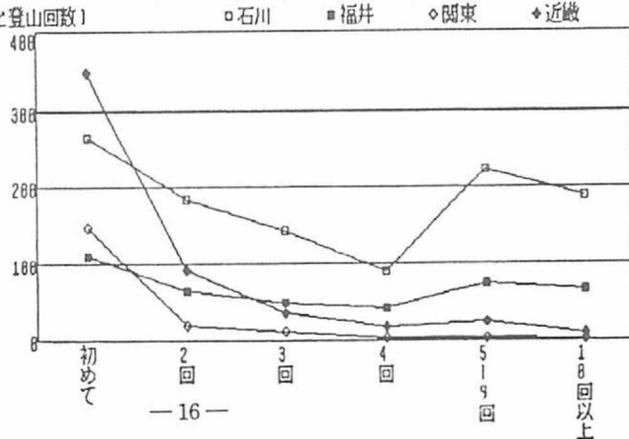
[山の印象と再登山意向]



h. 登山者の住所と白山登山の回数について

住所	初めて	2回	3回	4回	5-9回	10回以上	人数	有効人数	無回答
石川	266	183	142	90	222	188	1103	1091	12
福井	110	64	47	41	74	66	407	402	5
山梨	31	9	7	3	5	2	58	57	1
岐阜	25	6	4	4	7	3	49	49	0
北陸	0	2	0	1	1	1	5	5	0
関東	147	18	10	3	2	1	183	181	2
近畿	79	24	7	4	8	3	126	125	1
中国	348	91	34	17	23	9	528	522	6
四国	19	5	2	0	0	0	26	26	0
九州	19	1	1	0	0	0	22	21	1
無回答	12	1	0	0	1	0	14	14	0
合計	1068	411	259	165	350	280	2598	2533	65

(住所と登山回数)

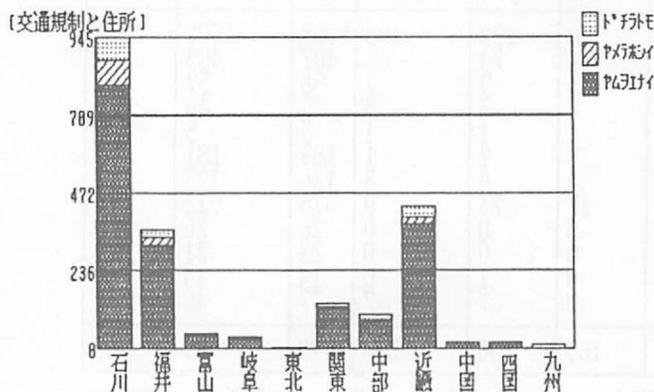


i. 登山者の住所と交通規制の実施

登山のピーク時にとられている交通規制について、それを登山者がどのように受けとめているかについて登山者の住所別にまとめたものが下表である。

住所	人数	有効人数	無回答	必要	ヤママイ	ヤマホソイ	ドチホモ	ソタ
石川	1103	960	143	437	362	74	72	15
福井	407	365	42	155	156	26	24	4
高山	58	44	14	18	20	1	3	2
岐阜	49	31	18	12	13	4	2	0
東北	5	3	2	1	2	0	0	0
関東	183	139	44	88	32	4	13	2
中部	126	101	25	51	30	4	15	1
近畿	528	437	91	243	134	21	33	6
中国	26	19	7	17	2	0	0	0
四国	22	17	5	8	8	1	0	0
九州	14	10	4	8	2	0	0	0
無回答	77	31	46	18	9	3	1	0
合計	2598	2157	441	1056	770	138	163	30

この表の項目で（必要+ヤママイ=必要）（ヤマホソイ+ドチホモ=反対）としてその状態をグラフに示したものが下図であり、おおむね交通規制に対する理解度は高いと判断される。



### 3-2. 山麓利用に関する調査

### 山麓利用に関する調査について

計画調査フローに見られるとおり、公園利用調査のうち昭和62年に実施した「登山利用調査」に引き続いて、昭和63年には「山麓利用調査」を行った。

白山の山麓には、その場所自体が諸々の自然環境に恵まれ、健康的な利用の対象となり得る数多くの場所があるが、この付近に集まる人々の「思い」の中には、どうしても「白山」という主体が色濃く位置付けされていると考えられる。

従って、「山麓利用」についての昭和63年の調査結果も、昭和62年のものと内容的にはかなり重複した部分が多くならざるを得なかった。以下に順を追って調査結果をまとめることとする。

「山麓利用」のアンケート調査については、昭和63年7月末から10月まで、市ノ瀬野営場及び山麓の旅館において自己記入により実施した。また、登山者に関する資料は白山観光協会のもを参考としている。

アンケート回答者の住所別順位と室堂や南竜の宿泊施設利用者のそれとの間に見られる相違はこのことに起因しているものと思われる。

## 3-2. 昭和63年「公園利用調査」・・・山麓利用

### 1. 入り込み調査

#### a. 昭和63年の山麓施設利用者数

昭和63年における山麓施設の利用者数は下の表に示すとおりであった。

利用施設名	人数
市ノ瀬キャンプ場 山麓の宿	2168 3694
合計	5862

なお、利用施設それぞれの月別人数は、次の表に示すとおりである。

月	市ノ瀬キャンプ場	山麓の宿
4		14
5	4	270
6	413	240
7	291	655
8	1347	1677
9	40	477
10	73	336
11		25
計	2168	3694

## b. 山麓施設利用者数の経年推移

資料の入手出来た年次について整理すると下表のとおりとなる。

年次	市ノ瀬キャンプ場	山麓の宿	合計
58		3591	3591
60		2554	2554
61	1517	1654	3171
62	974	2752	3726
63	2168	3694	5862

(市ノ瀬野営場のオープンは昭和61年である。)

## 2. アンケート調査

「山麓利用」の状況を把握する目的でアンケート調査を実施したが、アンケート用紙は主として自己記入により、市ノ瀬キャンプ場および市ノ瀬の山麓の宿において配布、345枚を回収した。なお、期間は7月末から10月初旬であり、この間の入り込み人数(8,9月)3541人に対して約10%の回答率であった。

また、用紙の配布方法からして、日帰りの利用者はほとんど含まれておらず、主として地元以外の人々の感想や意見を強く反映している。

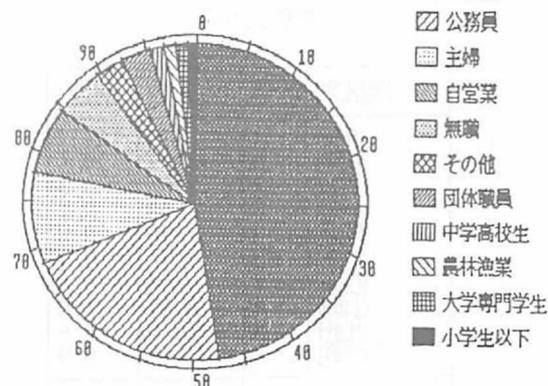
### a. 山麓利用者の形態調査

#### ア. 職業別分布

回答者の職業別分布は下表、下図に示すとおりサラリーマンが多い。

職業	人数	比率
会社員	163	47.4
公務員	72	20.9
主婦	33	9.6
自営業	23	6.7
無職	17	4.9
団体職員	10	2.9
農林漁業	4	1.2
大学専門学生	4	1.2
中学高校生	5	1.5
小学校以下	3	0.9
その他	10	2.9
合計	344	100

(回答者の職業別分布)

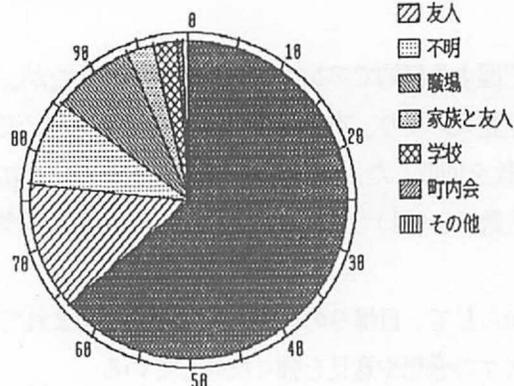


### イ、グループ構成

回答者のグループ構成は下表・下図のとおりであった。

構成別	番号	人数	割合
家族	2	716	63.6
友人	1	146	13.0
不明		99	8.8
職場	3	95	8.4
家族と友人	1, 2	30	2.7
学校	4	28	2.5
町内会	5	6	0.5
その他	6	5	0.5
計		1125	100.0

〔回答者のグループ構成〕



### ウ 回答者の住所別分布

昭和63年におけるアンケート調査結果では下表、下図に示すような値となり、近畿地区が北陸を上回って第一位となっているが、本章の最初にも断ったとおり、アンケート用紙の配布方法ないしはその場所によつて生じた現象である。

地区別	番号	人数	割合
近畿	1	375	33.3
北陸	0	333	29.6
関東	3	106	9.4
中部	6	98	8.7
北国	2	90	8.0
中国	5	57	5.1
四国	7	38	3.4
山陰	4	11	1.0
九州	8	7	0.6
その他		10	0.9
合計	36	1125	100.0

なお、北陸333人の内訳は

石川・・・186

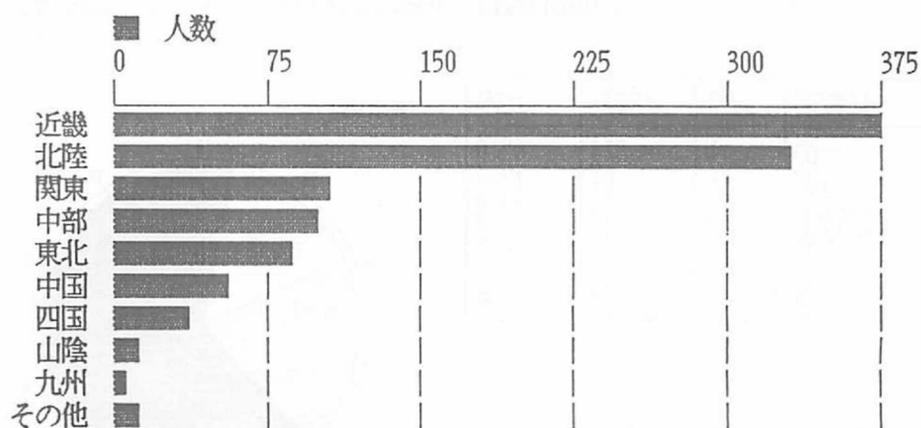
福井・・・106

富山・・・11

岐阜・・・30

であった。

[利用者の住所と人数]



b. 山麓利用者の動向調査

ア. 市ノ瀬までの利用交通機関

下表に見られるとおり「家族—マイカー」の組み合わせが圧倒的に多く、モータリゼーションの進んだ姿をはっきりと示している。

グループ	M C	路線バ	観光バ	小型バ	タクシー	バイク	乗継ぎ	M Cバ	その他	無記入	合計
家族	177	17	1		3		4			4	206
友人	25	7	1		1	1	5			1	41
職場	12	2		2					1		17
学校	2		1				1	1			5
友人	2										3
家族内	3			1							3
その他		1	1								1
無記入	36	18			1	6	1		2	6	70
合計	255	45	4	3	5	7	11	1	3	11	345

イ. 住所別利用交通機関

住所別利用交通機関は下図に示すとおりであった。

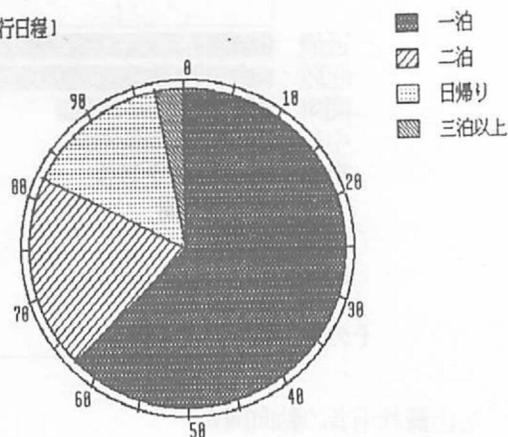
地区別	M C	M C.バス	バイク	タクシー	路線バ	乗継ぎ	不明	観光バ	マイカー	その他
北陸	85			2		6				1
近畿	82	1		2		17				1
東北	21			1	3	2	5	2	1	1
関東	22				2	15		1		
山陰	3					1				
中国	10					2			1	
中部	28			2				1		
四国	1					2			1	
九州	1									1
総計	253	1	7	5	45	11	9	4	3	3

### ウ、利用のための計画日程

アンケートによる利用日程は、下表および下図に示すとおりであった。

日程別	記号	返答数	比率
一泊	b	214	62.0
二泊	c	67	19.4
日帰り	a	51	14.8
三泊以上	d	10	2.9
不明		3	0.9
合計		345	100

〔旅行日程〕



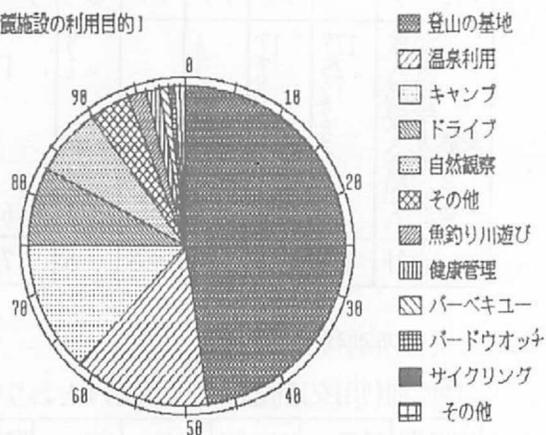
### エ、山麓施設の利用目的

山麓施設の利用目的 についての回答は表および図に示すとおりであった。

利用目的の内訳

回答の内容	答数	率
キャンプ	56	13.2
温泉利用	59	14.0
登山の基地	202	47.8
魚釣り川遊び	8	1.9
バーベキュー	4	1.0
自然観察	29	6.9
健康管理	6	1.4
バードウォッチング	3	0.7
ドライブ	34	8.0
サイクリング	2	0.5
付き合い	1	0.2
野外学習	1	0.2
その他	18	4.2
合計	423	100

〔山麓施設の利用目的〕



(複数回答)

山麓の宿を利用した人の年齢構成

下の表は昭和63年に山麓の宿を利用した人々の年齢構成を示したものである。  
表中「率2」とあるのは、「不明」とした人数が多かったので、これを除いて  
求めた構成率である。

年齢区分	延人数	率	率2
0-9	68	3.0	5.1
10-19	182	8.0	13.6
20-29	174	7.7	13.0
30-39	256	11.3	19.1
40-49	294	12.9	21.9
50-59	233	10.3	17.3
60-69	112	4.9	8.3
70以上	24	1.1	1.8
不明	929	40.9	
合計	2272	100.0	100.0

オ、施設の利用状況と利用予定

「すでに利用した」「今回利用予定」「今後利用希望」の区分別  
に施設と景勝地に分けて整理したものが次表である。

区分	施設または景勝地	すでに利用した		今回利用予定		今後利用希望		計
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	
施設	旅館 (山麓)	225	38.9	18	4.5	5	3.2	248
	別荘 (園地)	82	14.2	90	22.6	4	2.6	176
	中飯場 (園地)	54	9.3	74	18.6	5	3.2	133
	野営場 (市瀬)	27	4.1	35	8.8	21	13.4	83
	温泉 (市瀬)	6	1.0	5	1.3	12	7.6	23
	二ツ谷園地	2	0.4	1	0.3	1	0.6	4
景勝地	百万がん岩 (ブナ林)	36	6.2	5	1.3	2	1.3	43
	子尾根 (ブナ林)	9	1.55	7	1.8	5	3.2	21
	別山 (山頂)	8	1.4	10	2.5	21	13.4	39
	秋加岳 (ブナ林)	5	0.9	9	2.3	16	10.2	30
	新道 (ブナ林)	4	0.7	10	2.5	7	4.5	21
	至堂周辺	80	13.8	105	26.3	22	14.0	207
	南電ケ馬場周辺	37	6.4	19	4.8	21	13.4	77
	けい化木産地	2	0.4	4	1.0	7	4.5	13
	杉峠 (ブナ林)	1	0.2	1	0.3	6	3.8	8
	六万山 (ブナ林)	1	0.2	6	1.5	2	1.3	9
合計		579	100	399	100	157	100	1135

### 3. 調査内容の相関

#### a. 市ノ瀬キャンプ場及び山麓の宿の利用状況

(実数)

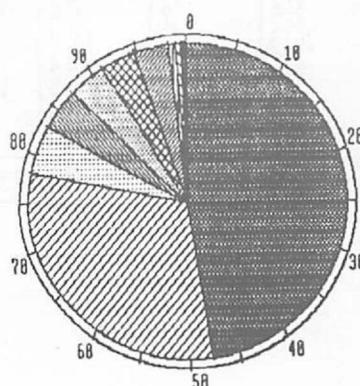
区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
市ノ瀬 キャンプ場	61				303	1155	46	13		1517
	62			66	221	652	16	19		974
	63		4	413	291	1347	40	73		2168
山麓の宿	58		676	277	1056	890	240	424	28	3591
	60	34	101	110	560	1029	317	282	121	2554
	61			146	726	1008	389	337	48	1654
	62		199	229	701	1086	241	276	20	2752
	63	14	270	240	655	1677	477	336	25	3694

#### b. 利用者の住所別

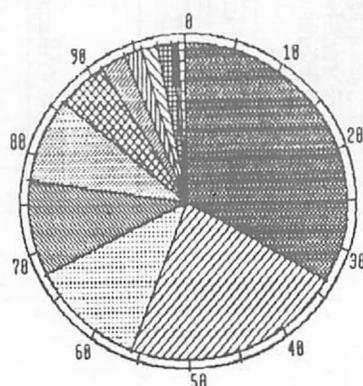
市ノ瀬 キャンプ場	住所	利用 人数
	石川	600
	福井	54
	山梨	6
	岐阜	45
	東北	2
	関東	44
	中部	60
	近畿	382
	中国	49
四国	3	
九州	10	
不明	1	
合計	1256	

山麓の宿	住所	利用 人数
	石川	225
	福井	119
	山梨	30
	岐阜	41
	東北	13
	関東	265
	中部	195
	近畿	764
	中国	61
四国	37	
九州	17	
不明	505	
合計	2272	

〔市ノ瀬キャンプ場〕



〔山麓の宿〕



- 石川
- ▨ 近畿
- ▩ 中部
- ▧ 福井
- ▦ 中国
- ▥ 岐阜
- ▤ 関東
- ▣ 九州
- ▢ 富山
- 四国
- 東北
- ▦ 不明

- ▧ 近畿
- ▨ 不明
- ▩ 関東
- ▦ 石川
- ▥ 中部
- ▤ 福井
- ▣ 中国
- ▢ 岐阜
- 四国
- 富山
- ▦ 九州
- ▥ 東北

c. 道路延伸計画に対する回答者の反応

ア、車道延伸計画の内容

県道路建設課による「村おこし道路事業」としての延伸計画は、大要次のようなものである。

1. 目的と方針

白山国立公園登山者の利便向上、利用者の増大、白山麓地域活性化のため、別当出合（主要地方道 白山公園線の起点）より、建設省砂防工事用資材運搬路（1=4.2Km）を利用し、中飯場までの間を乗合バス運行を前提とした道路として整備する。

2. 前提条件

- (イ) 別当出合—中飯場 間はマイカーの運行を禁止し、乗り合いバス（小型）の運行とする。
- (ロ) ピーク期間（7-8）は、市ノ瀬—別当出合 間についても、マイカーの規制を考慮する。
- (ハ) 自然保護の観点から、道路整備は現資材運搬路に交通安全確保のため必要な最低限の整備（防災・交通安全施設・舗装など）とする。

イ. 車道延伸計画アンケート調査

アンケート調査の該当設問は次のような内容である。

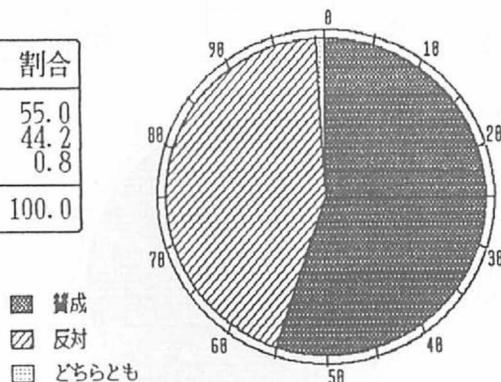
(2) 車道の利用について

今後、より多くの方に白山国立公園を利用して頂くため、現在の車道を中飯場まで延長し、バスを乗入れる構想があり、この場合、中飯場には駐車場を造らず、一般車の乗入れは、市ノ瀬までとなります。この構想についてご意見をお聞かせ下さい。

1. 車道延伸に対する賛否の結果 〔道路計画への賛否・全体〕

賛否	回答数	割合
賛成	148	55.0
反対	119	44.2
どちらとも	2	0.8
合計	269	100.0

(記入なし 76件)



## 2. 車道延伸に対するアンケート内容の分類

道路延伸計画に対して、単なる賛否の他になんらかの意見表示があった回答の内容を整理すると、以下に示すとおりである。

### 意見区分

- a: 便利さを重視。
- b: 自然保護のため・マイカーの阻止。
- c: より多くの人の利用。
- d: その他。

なお、道路計画に対する賛否の割合は意見を述べた人を対象とした場合と賛否の表示のあった総ての人（意見のあった人も含む）を対象とした場合とはかなり賛否の割合が異なっていた。

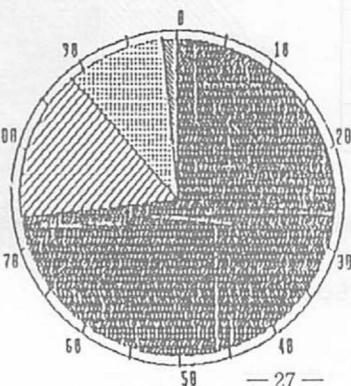
## 2 (イ) 分類の集計

車道延伸計画に対する意見表示の分類結果は下表・下図に示すとおりであった。

種別	賛否	区分	意見数	小計	割合
意見記入	賛成 (73.1%)	a	32	95	24.6
		b	47		36.2
		c	4		3.1
		d	12		9.2
	反対 (15.4%)	a	4	20	3.1
		b	11		8.5
		c	-		0.0
		d	5		3.8
	現状維持 (10.0%)	a	-	13	0.0
		b	12		9.2
		c	-		0.0
		d	1		0.8
	どちらとも (1.5%)	a	-	2	0.0
b		2	1.5		
c		-	0.0		
d		-	0.0		
合 計			130	130	100.0

(計画に対する賛否)

- 賛成
- ▨ 反対
- ▤ 現状維持
- ▥ どちらとも



## 2(ロ)分類別の集計

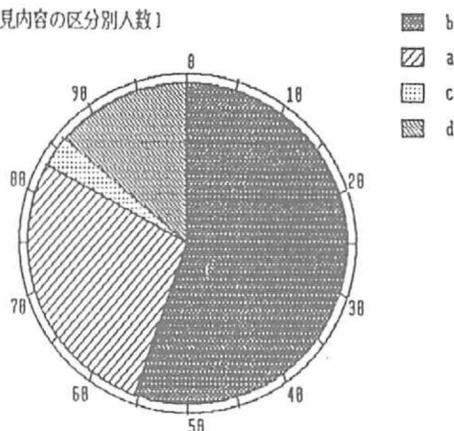
計画に対して「賛成」「現状維持」「反対」「どちらともいえない」の区分ごとに表示したものは先に示した表のとおりであるが、これを各分類別に集計したものが下の表である。

すなわち、(b)の自然保護・マイカー阻止という考え方の人が55%と過半数を占め、(a)の便利さを第一義とする人がこれに次いで28%となっている。

分類	回答数	割合
b	72	55.4
a	36	27.7
c	4	3.1
d	18	13.8
合計	130	100.0

(d)の自然保護に対して全く関心を示さない人は、14%にとどまっている。

〔意見内容の区分別人数〕



## 2(ハ)回答者の住所別分類内容の検討

回答者の住所別・分類別の集計を行った結果、下の表のとおりであった。

住所	a	b	c	d	合計
石川	8	7	2	3	20
福井	6	6		2	14
山梨	1	2			3
岐阜	1	4			5
新潟		1			1
近畿	13	23	2	6	44
北関東		2			2
関東	5	12		5	22
中部	2	2			4
中国		11		1	12
四国		1		1	2
不明		1			1
合計	36	72	4	18	130

回答数の絶対値が少ないので断言することは出来ないが、比較的に回答数の多い近畿・関東地区において「便利さ」を追う人に比べ、「自然保護」を考える人が目立って多かったことは注目に値する。